



VBOX Video HD2 ソフトウェア マニュアル

VBOX JAPAN 株式会社

222-0035 神奈川県横浜市港北区烏山町 237 カーサー烏山 202 TEL: 045-475-3703 FAX: 045-475-3704 E-mail: vboxsupport@vboxjapan.co.jp Web: http://www.vboxjapan.co.jp

13 July 2017

目次

1.	はじめに	3
2.	ソフトウェア画面	3
3.	設定ボタン	4
4.	ファイルメニュー	4
5.	シーンのインポート	4
6.	ライブラリファイル	5
7.	SD カードへの保存	5
8.	シーンのファイルのアップロード	5
9.	エレメントボタン	5
10.	トラックマップ	6
11.	トラックマップの作成	6
12.	スタート/フィニッシュ ラインの作成	6
13.	一般設定	7
14.	記録モード・プリバッファ機能	7
15.	タイムゾーン	8
16.	CAN 設定	9
17.	お問合せ先1	2

1. はじめに

このマニュアルは Video VBOX HD2 ソフトウェアのクイックマニュアルです。詳細なマニュアルは以下の URL に 英語で掲載しています。

https://racelogic.support/02VBOX_Motorsport/Video_Data_Loggers/VBOX_Video_HD2

VBOX Video HD2 ソフトウェアを使うと、シーンファイルを作成することができます。

VBOX Video HD2 には出荷時にデフォルトのシーンが設定されているため、ケーブルをつないで電源に繋げば、すぐにお使いいただけます。シーンファイルをカスタマイズしたい場合のみ、このソフトウェアをお使いください。

2. ソフトウェア画面

and series and

ソフトウェア画面は、下図のように4つの部分に分かれています。

調	Serviti inge	II T 🏯 🕮	• • H 11	t O O		2		VBO
I.	Automati ull'apper lune	1			VB0 16:00 (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (100 000 X	Scores X Door got Discore got Scores Marcor Scorelions Latitudes Vitagei	#
1	-	ب ا		3			4	
		_				/	low	

- ① 設定ボタンでは CAN、演算チャンネル、パフォーマンステスト、一般、設定の5つの設定画面とシーンの 編集画面を切り替えます。
- ② トップパネルでは主要なメニューを選択できます。
- ③ メインビューではレイアウトを表示・編集します。
- ④ 設定パネルでは選択されたエレメントを編集できます。

3. 設定ボタン

設定ボタンからメニューを選択すると、編集画面を切替えることができます。



※設定ボタンからメニューを選択すると、下図のように画面全体が切り替わります。



4. ファイルメニュー

このソフトウェアはインストール時、シーンとエレメントを保管するライブラリファイルを作成します。



ライブラリに保管されているシーンファイルを選び編集することができます。



5. シーンのインポート

ファイルボタンのから'インポート'選択することでシーンをダウンロードし、メインビューに描画します。シーンを保存 したい場合はファイルからライブラリで'セーブ'を選択することで保存できます。

6. ライブラリファイル

ライブラリに入るにはトップメニューのファイルボタンから'ライブラリを開く'を選択してください。 ライブラリフォルダは以下に作成されます。

C: ¥Users¥FULL USERNAME¥Documents¥VBOX Video¥Library¥1920x1080

➡ 新規	ライブラリ検索用にタイピング中	<u>ライブラリを開く</u>	
2 インボート			^
	Scene 1 KMH - Throttle, Brake, RPM	Scene 1 KMH	

作ったシーンファイルやエレメントを他のユーザーと共有する場合、このフォルダのデータを使うと便利です。

7. SD カードへの保存

SD カードまたは USB スティックにシーンファイルを記録し、HD2 にアップロードすることができます。

ファイル名 dadf	ドライブ			~
dadf	ファイルキ	名		
	dadf			

8. シーンのファイルのアップロード

シーンファイルを SD カード経由でアップロードするには'Save to SD'のボタンを押し、以下の手順で行います。

・カメラを接続して HD2 の電源を入れる

・SD カードをフロントパネルに挿入し、OK LED が緑点滅しシーンが読み込まれているのを確認します。

・HD2 がビープ音を2回鳴るとOK LED が黄色点滅に変わり読み込みが終わります。

・一度 HD2 本体の電源を切り、再度立ち上げるとアップロード完了です。

9. エレメントボタン

エレメントボタンから各エレメントを選択して、シーンに追加することができます。



10. トラックマップ

LapTiming ボタンを押すと、シーンにトラックマップを追加できます。 自動検出が ON になっていると、緯度経度からサーキットが自動的に選択されます。 自動選択の場合は、大きさを変えることができません。

トラックマップを特定のサーキットに固定するには、 '自動検出' チェックを外して、使用するコースの国と地域 及びコース名をドロップボックスから選択してください。

「			VBOX
		ラップタイム	6
ma		 ファストトラック 自動検出 国 回線 	Germany v Nurburgring 24Hr v
	Nordscheife Nordscheife Nurburgring 24 Nurburgring GF Nurburgring GF Nurburgring VL Porsche Leipzig Porsche Leipzig Sachsenring	Hr G without MB Arena N circuit A B	Y ⊢57/₱ (m) 25032
Se la		 ✓ 開始運送 / 終 アウトライン ✓ 可視 福 色 スタートラインカウント 	7週社 2〇〇

11. トラックマップの作成

使用したいコースがデータベース上にない場合、事前に記録した VBO ファイルから読み込むかグーグルアース 上にサーキットを描写することでトラックマップを作成することができます。

'ラップタイム' 中の'ユーザー' にチェックを入れて CIR もしくは VBO ファイルをダウンロードしてください。



12. スタート/フィニッシュ ラインの作成

スタート/フィニッシュ ラインがデータベース上にない場合、記録した VBO ファイルかサーキットツールで描画したもの、もしくは Google Earth で作成したものをダウンロードすることで作成することができます。

ダウンロードするには'スプリット'自動検出のチェックを外し、'追加'のボタンからファイルをダウンロードしてください。

スプリット

自動検出

	追加	保存	消去
--	----	----	----

Start / Finish (50°20.135910 N, 6°56.854220 E)

13. プレビュー

'プレビュー'では HD2 で撮影した映像を Wifi 経由で、PC に静止画やリアルタイム映像として表示させることができます。

O 副 T A A A A A A A A A A A A A A A A A A	奈
	☎ 背景にプレビューをダウンロード VBOXビデオをリストから選択
	💼 ブレビューをストリーミング 🛜 リスト更新

PC の Wifi 設定を ON にすると、VBOX リストに HD2 のユニットが検出されるのでこれを選択してください。 '背景にプレビューをダウンロード'では静止画。'プレビューをストリーミング'ではリアルタイムでの映像を表示できます。

注) 'プレビュー'は以下のバージョン以降でなければ使用できません。
 「VBOX Video」ソフトウェアバージョン V1.3b170
 HD2本体 ファームウェアバージョン V 1.3b58

14. 一般設定

'一般'の画面では記録のレートや記録ファイル名、映像画質、オーディオ設定、シリアル通信、ブルートゥース など HD2 に関する一般設定を行うことができます。これらの設定はシーンファイルに記録されます。 '一般'はトップメニュー左端の'設定'ボタンから選ぶことができます。



15. 記録モード・プリバッファ機能

モードには、移動中のみ(デフォルト)、継続、マニュアルの3つのモードがあります。

デフォルトの「移動中のみ」を選択すると下図の編集画面が表示されます。

記録				
₹-K	稼働中のみ >	最小速度 (km/h)	15.0	□ 手動上書きの無効化
ログ	SDカード ×	停止ログ遅延	10	☑ 警告音を有効にする
プレバッファー遅延	10			

最小速度(km/h) - 記録開始する速度です。 停止ログ遅延(s) - 10 秒間この速度を下回ると、記録停止します。 プリバッファ遅延(s) - 記録開始のプリバッファ時間です。最大値は 30 秒です 手動上書きの無効化 - チェック ON にすると、REC ボタンを押しても記録開始されないようになります。 警告音を有効にする - チェック ON にすると、ビープ音が鳴るようになります。

16. タイムゾーン

タイムゾーンを選択できます。タイムゾーンは、ファイルの作成日時と GPS のローカル時刻に反映されます。

ファイル命名		
ファイル名	VBOX	
シリアルナン シリア シー シー	(一を含む	
🗆 ୭イムスタンフ	を付ける	
C.		1

17. CAN 設定

まず、設定→CAN 設定ボタンをクリックして、CAN の設定画面に切替えてください。



画面は下図のように、4つの部分に分かれています。

は <th>T A FO ● F 日 ロ テキスト 画像 PIP Gボール シェイブ レンジ グループ ラッ</th> <th>※</th> <th>VBOX</th>	T A FO ● F 日 ロ テキスト 画像 PIP Gボール シェイブ レンジ グループ ラッ	※	VBOX
チャンネルを選択して記録	CAN 入力 - 27 残り	0 ×	チャネル設定
ソース レースロジックモジュール ・	エクスポート すべて消去		選択したチャネルの編集
モジュール ミクロインプットモジュール (MICIN) ~	MICINO1 ADC1 X	MICIN01 ADC3 X	名前 ADC1 ユニット V
チャンネルをチェックして記録	MICINo1 ADC4	MICINo1 ADC2 X	スケール 1.00000 C
□ ログ チャネル ADC4 ADC3 ADC3 ADC3	MICINO1 Revs X		 ※ 高度な設定 ○K キャンセル
ADC2 ADC1 Revs			
4	3		CAN/X設定 ボーレート モード 回 形成す5 □ 中止しました

①「チャンネルを選択して記録」

ここから、Racelogic 製品のモジュールを選択できます。車両 CAN データベースをロードする場合も、こ こからメニューを選んでください。

②[CAN 入力]

CAN 入力するチャネルのリストがここに表示されます。

③チャネル設定

CAN 入力で選択したチャネルを編集できます。

④CAN バス設定

CAN バスの設定を変更できます。

ボーレート

ボーレートを指定できます。デフォルトは 500 Kbit です。

ボーレート	500 Kビット *
€-ド	VCI

モード

VCIとRacelogic outputの2つが選択できます。

VCI モード: CAN 入力のモードです。車両に接続する時は、VCI モードを選択してください。 Racelogic output モード: CAN 出力のモードです。

CAN 認証(Send Acknowledge)

車両に接続するときは、「Acknowledge を送る」を OFF をにしてください。 Racelogic Module を接続するときは、「Acknowledge を送る」は自動的に ON になります。 「Acknowledge を送る」が ON になると、以下の警告メッセージが表示されます。

インフォメーション	X
注意: CAN認証を有効にすることで、CANパス上に意図しないデータを載せることがあります。	
ОК	

終端抵抗

終端抵抗を ON/OFF を切替えられます。 Racelogic 製のモジュールを接続するときは、終端抵抗を ON ににしてください。 車両に接続するときは、終端抵抗を OFF にしてください。

データベース読込

DBC ファイルを読込には、このメニューを選択してください。

Racelogic 社が解析している車両 CAN データベースは、Web からダウンロードできます。

1-t	f-設定	
+	新規ユーザーチャネル作成	
4	データバーフ語い	

CAN データベースファイル(拡張子.REF, .DBC, .VCI)を選択すると、チャネル一覧が表示されます。 チェックマークを付けたチャネルが記録されます。最大32チャネルを選択できます。

チャンネルをチェックして記録

□ ログ	ヤネル	
CH7_ext		^
	Blank	
\checkmark	Z_Accel	
CH5_CH6_ext		
\checkmark	Roll_Rate	
\checkmark	Pitch_Rate	
CH3_CH4_ext		
	Temp	
	Y_Accel	
CH1_CH2_ext		
	Yaw_Rate	
\checkmark	X_Accel	
 CH7 		
\checkmark	Blank	
	Z_Accel	
CH5_CH6		
	Roll_Rate	
	Pitch_Rate	
CH3_CH4		
\checkmark	Temp	
	Y_Accel	
- CU1 CU1		V

チェックマークを ON にすると、「CAN 入力」画面のリストに追加されます。 リストに登録された CAN チャネルは、シーンファイルの中にあるエレメントに割り当てることができます。

CAN チャネルを手動で設定する

CAN チャネルを手動で設定するには、「新規ユーザーチャネル作成」メニューを選択してください。 「CAN 入力」のリストに新しい空のチャネルが追加されます。

ソ−ス ユーザー設定 v	エクスポート	すべて消去		
┿ 新規ユーザーチャネル作成	ューザー	新規	×	
➡ データベース読込				

画面右側の「チャネル設定」で、ID など、CAN チャネルの詳細を編集することができます。 編集が終わったら、OK ボタンを押してください。

チャネル設定

名前	半角英数字のみで、
	チャネル名を入力してください。
ユニット	半角英数字のみで
	単位を入力してください。
スケール	スケールを入力します
オフセット	オフセットを入力します

高度な設定

ID(hex)	IDを16 進数で入力します。
延長されま	Extended ID(29bit ID)の場合
した	ON にします。
開始ビット	スケールを入力します
長さ	オフセットを入力します
DLC	DLC を入力します。
最大	最大値を入力します。
最小	最小値を入力します。
バイト順	バイトの読み順を、モトローラ or
	インテル から選択します。

データフォーマット :以下から選択してください。

未符号	Unsigned int
符号付き	Signed int
32 ビットフロート	32bit float
64 ビットフロート	64bit float
疑似符号	Pseudo signed

チャネル設定	
選択したチャネルの編集	
名前	
בבאף	
スケール	1.00000
オフセット	0.00000
◇ 高度な設定	
ld (hex)	000
□ 延長されました	
開始ビット	0
長さ	1
DLC	8
最大	0
最小	0
バイト順	
● ₹トロ-ラ	○ インテル
データフォーマット	
● 未符号	 符号付き
O 32-ピット フロ−ト	○ 64-ビット フロート
○ 擬似符号	
ОК	キャンセル

18. お問合せ先

日本販売代理店

VBOX JAPAN 株式会社

222-0035 神奈川県横浜市港北区烏山町 237 カーサー烏山 202 Tel: 045-475-3703 Fax: 045-475-3704 Email: vboxsupport@vboxjapan.co.jp Web: www.vboxjapan.co.jp

製造元

Racelogic Ltd

Unit 10 Swan Business Centre, Osier Way, Buckingham, MK18 1TB, UK Tel +44 (1280) 823803 Fax +44 (1280) 823595 Email <u>vbox@racelogic.co.uk</u> Web www.racelogic.co.uk